

藤原京
遷都

私は天武天皇の妻であり、皇后としてともに政治を行いました。ですから、夫の理想を誰よりも理解しています。天武天皇が亡くなった後に即位し、夫の遺志を継いで、共に進めてきた事業を完成させたのです。私たちが目指したのは「律令国家」の確立。国家の基礎となる法「飛鳥浄御原令」を完成し、さらに日本で初めて、先進国である唐にならった本格的な都「藤原京」を造りました。これらは夫とともに計画し、長い年月をかけて実現したものです。

持統天皇

『日本書紀』によるプロフィール

- ・天智天皇の娘、天武天皇の皇后
- ・落ち着いた性格で広い心を持っていた
- ・慎ましやかで母としての徳があった
- ・天武天皇の事業を引き継ぐ

673年、大海人皇子は天武天皇となり、兄の天智天皇が目指した中央集権化を進めます。それを支え、共に進めたのが皇后でした。680年、天武天皇は病気になる。皇后の回復を願って薬師寺の建立を發願し、これにより病気が治ったと伝えられています。この頃に、国内外に向けて国や天皇家の成り立ちを紹介するため、『古事記』や『日本書紀』の制作に取りかかります。また、中央集権化が進むにつれ、より大きな都が必要となり、新しい都「藤原京」を飛鳥の北面（現在の橿原市）に造ることにしました。しかし、天武天皇は病に倒れ、これらを完成できませんでした。

その後、皇后が持統天皇として即位し、夫の遺志を継いだ政治を行います。694年には、大和三山（耳成山、香具山、畝傍山）に囲まれた古代最大の都「藤原京」への遷都を成し遂げました。唐の都になら、日本で初めて、道路を碁盤の目のように東西南北に交わらせる「条坊制」によって造られました。

持統天皇は壬申の乱の出発点となった、夫との思いの地吉野を31回も訪れたと記されています。そして、697年、持統天皇は孫の軽皇子（文武天皇）に天皇の位を譲りました。『日本書紀』はこの出来事を最後に、全三十巻が完結しています。

薬師寺は

710年の平城京遷都と

同時期に、現在の薬師寺に

移され、藤原京にあった薬師寺は

「本薬師寺跡」として、

金堂の礎石などが残っているよ。



「なら記紀・万葉名所図会

～日本書紀・旅編」発行！（3月20日予定）

『日本書紀』にゆかりのある県内各地をルートで巡ることができる冊子です。（無料・1人1冊）

●配布場所：県文化資源活用課

※郵送希望の場合は、封筒の宛先面に「日本書紀・旅編希望」と明記のうえ、送り先を記載した返信用封筒（A4サイズが入る封筒に205円分の切手を貼付）を同封し、下記へ。

ぬりえコンテストの
優秀作品が決定！

11月～1月に募集した「記紀・万葉れきしぬりえコンテスト」700点ものご応募ありがとうございました！

優秀作品をホームページで
掲載中です！